

阿波展望

あわてんぽ
とくしま生協機関紙



NO.364
2019. 1

<http://www.tokushimaseikyou.or.jp>

〒771-0289 徳島県板野郡北島町中村字東堤ノ内30-3
TEL.088-698-5100 発行責任者／梶原 樹



新年、あけまして
おめでとうござい
ます

今年もよろしくお願ひいたします

理事長 梶原 樹

新年あけましておめでとう
ございます。

今年の干支は、己亥年(つち
(じっかん)の6番目。植物の
成長に例えると、草木が成長
を終えて姿が整った状態を表
します。亥は、十二支の最後に
あたり植物の命が引き継がれ
て種の中にエネルギーがこも
っている状態です。人間や組
織に当たはめると、己は、成長
した組織が次の段階を準備し
ていく年と言われ、亥は、人の
成長など人材育成・財政基盤
強化など内部充実に心がけて
次に内部充実を図りながら、
次に40年を展望し準備してい
く年にしていくことが求めら
れていると言えます。

右記年であることをふまえ、
と一緒になって「いい年」にし
ていきたいと思思います。よろ
しくお願いいたします。

新年にあたって以下4つの
ことを申し上げ、新年のごあい
さつにかえたいと思います。
第一は、消費税増税・少子高
齢化・子供の貧困率増加など
普段の暮らしの中で課題は山
積しています。そういう時代
だからこそ、組合員のみなさ
んにこれまで以上に喜んでも
らえる生協でありたいと思いま
す。

第二は、人手不足問題が深
刻化しています。魅力ある職
業として、地域社会に貢献す
る組織です。ひきつづき人と
人の関係を最も大事なことと
して事業を進めていきます。

第三は、とくしま生協創立
35周年を迎えます。5年に1
度の節目の年に組合員さんへ
の感謝の気持ちをこめて、と
くしま生協フェスティバルを
10月アステイとくしまにおいて
開催します。組合員のみな
さんが「来て良かった」と思
う第3は、11万世帯を超える
組合員組織となりました。3
軒に1軒は生協に入っています
ただいています。したがって、
組合員さんだけでなく県民の
みなさんから、生協が徳島県
にあって良かったと思ってい
ただけよう、徳島県との包括
連携協定を基本に、見守り活
動など地域貢献をより一層推
進していきたいと思います。

また消費者庁と協同で、昨年
より「健康と生活に関する社
会実験」を実施中です。この取
組みを通じて、組合員のみな
さん・県民のみなさんに、より
実効性のある健康提案や生
活改善提案を行っていきたい
と思います。

第四は、人手不足問題が深
刻化しています。魅力ある職
業として、地域社会に貢献す
る組織です。ひきつづき人と
人の関係を最も大事なことと
して事業を進めていきます。

ただけける生協にしていかな
ければなりません。採用活動を
一層強化し、人材育成など人
材づくりを重視した職員組織を
目指していく年とします。

以上4点を大事にし、20
19年度の事業を推進してい
きます。

1月にかけて、年頭のごあいさつ
申上げるとともに、みなさ
んのご家族のご多幸を祈念申
し上げて、年頭のごあいさつ
とさせていただきます。

以上4点を大事にし、20
19年度の事業を推進してい
きます。



徳島県ととくしま生協による、包括連携協定の実践を通して、県民のくらしに役立っていきたい。

梶原 今年の特徴としては見守りの事例が増えてきています。高齢化社会の中で、配送の担当者が組合員さんの異変に気づき、必要な対応をして、喜ばれることも増えてきました。

西條 はじめまして BOXから始まつてしまふ、今年はどんな一年だつたでしょうか？

梶原 子育て世代にはありがたですね。ネーミングもいいです、利用した方の声もあるように、とくしま生協さんのきめ細かな気配りが感じられます。赤ちゃんのおしゃりふきも必要ですから、お試しだけたら、嬉しいですよね。

西條 それに県の子育て支援や子どもの事故に関するチラシを差し入れてもらえるなど御協力いただき、たいへんありがとうございます。包括連携協定、はじめまして BOXから始まつてしまふ、今年はどんな一年だつたでしょうか？

梶原 その包括連携協定を結ばせてもらつてはじめて実施したことが、「はじめて BOX」の取組でした。徳島県の年間の出生数が約5200人なので4割ぐらゐの約2000人にお届け届けさせていただいた方からもたくさん「ありがとうございます」というお声を聞いています。

西條 とても大事なことだと思います。「みんな違つてみんないい」ということが基本だと思いますが、大変重要なことがあります。例えば、県の見守りや消費者被害の防止に見守りネットワークの設置を進めています。この組織の中で、とくしま生協さんとのこういった見守り活動を行行政につないでいただけることが、大変重要であり、それが住みやすい地域を作ることにつながっていくと思いますね。

梶原 はい。徳島県では、エシカル消費の普及のプロジェクトをしておりました。徳島県では、エシカルの認知度が約25%であり、全国より高い結果なんですが、さらにみなさん知つてもらえるよう、エシ

西條 このたびは厚生労働大臣表彰おめでとうございます。とくしま生協さんと梶原理事長の功績が大きいものだと改めて感じています。徳島県とも包括連携協定を結んでいただき、消費者行政の推進をはじめ、見守りやその他の徳島県の色々な取組に御協力いただきありがとうございます。

梶原 確かに、徳島県さんは先駆的な取組を実施しているので、県内の認知度が上がっていますよね。エシカル商品については、とくしま生協でも力を入れており、2000~300くらいの商品を扱つています。今後は組合員さんに浸透させていきたいと思っています。

西條 カル商品に触れる啓発や周知の機会を設けていきたいと考えています。

梶原 德島県では、現在、県庁10階に設置されている「消費者庁消費者行政新未来創造オフィス」と連携して、消費者行政の様々な課題に取り組んでおりますが、とくしま生協さんもこのオフィスと連携した「消費行動に係る社会実験」を実施していただき、本当にありがとうございます。

西條 確かに、徳島県さんは先駆的な取組を実施しているので、県内の認知度が上がつていますよね。エシカル商品については、とくしま生協でも力を入れており、2000~300くらいの商品を扱つています。今後は組合員さんに浸透させていきたいと思っています。

梶原 はい。徳島県では、エシカル消費の普及のプロジェクトをしておりました。徳島県では、エシカルの認知度が約25%であり、全国より高い結果なんですが、さらにみなさんが知つてもらえるよう、エシ

西條 なつて県民のくらしに役立てるようにしていきたいと思います。



梶原 消費者くらし安全局は、県民の消費生活において幅広い分野で様々なことに関わります。とくしま生協としても徳島県と一緒に取り組んでいます。

西條 生協さんの取組は、はじめまして BOXや高齢者等の見守り、エシカル商品の取扱い、障がい者雇用もあり、まさしくSDGsを達成するための取組だと思います。

梶原 はい。徳島県では、エシカル消費の普及のプロジェクトをしておりました。徳島県では、エシカルの認知度が約25%であり、全国より高い結果なんですが、さらにみなさんが知つてもらえるよう、エシ

西條 ところどころで、とくしま生協さんは障がい者雇用にも大変力を入れています。今は26名の雇用をしています。これまで一般就労に6名の方が就立つてきました。単に雇用だけでなく訓練を通じて一般企業にも就職が出来るようにさらに力をいれていきたいと考えています。

梶原 はい。徳島県には、消費者の声を国行政にダイレクトに届けることが出来ますので、消費者の誘致について、今後ともとくしま生協さんの御支援をお願いしたいと思います。

西條 消費者庁が徳島県に来れば、消費者の声を国行政にダイレクトに届けることが出来ますので、消費者の誘致について、今後ともとくしま生協さんの御支援をお願いしたいと思います。

梶原 德島県では、現在、県庁10階に設置されている「消費者庁消費者行政新未来創造オフィス」と連携して、消費者行政の様々な課題に取り組んでおりますが、とくしま生協さんもこのオフィスと連携した「消費行動に係る社会実験」を実施していただき、本当にありがとうございます。

西條 確かに、徳島県さんは先駆的な取組を実施しているので、県内の認知度が上がつていますよね。エシカル商品については、とくしま生協でも力を入れており、2000~300くらいの商品を扱つています。今後は組合員さんに浸透させていきたいと思っています。

梶原 はい。徳島県では、エシカル消費の普及のプロジェクトをしておりました。徳島県では、エシカルの認知度が約25%であり、全国より高い結果なんですが、さらにみなさんが知つてもらえるよう、エシ

西條 なつて県民のくらしに役立てるようにしていきたいと思います。

梶原 はい。徳島県では、エシカル消費の普及のプロジェクトをしておりました。徳島県では、エシカルの認知度が約25%であり、全国より高い結果なんですが、さらにみなさんが知つてもらえるよう、エシ

